カリギュラ

生きながら男は神になった！そして人の愛に飢えた！

カラー作品／アメリカ・ペントハウスフィルム作品

マルコム・マクドウェル／ピーター・オトゥール／テレサ・アン・サボイ／ヘレン・ミレン／ジョン・ギールグッド／製作ボブ・グッチョーネ／監督ティント・フラス／原作・富士見書房ロマン文庫刊／成人映画

CALIGULA

日本ヘラルド映画 Herald

Herald

話題騒然の中、遂に日本公開！

日本ヘラルド映画
アメリカ・ペントハウスフィルム作品
CALIGULA
原作/富士見ロマン文庫刊

カリギュラ

エロスと残酷が蠢く絢爛豪華巨篇！

米国・ペントハウス誌のオーナー、ボブ・グッチョーネが46億円を投入し、1世紀前半のローマ帝国の官能と退廃を描いたハード・コア巨編である。そこに蠢くエロスと残酷は、かつてないスケール、大胆さ、絢爛豪華さで観る者を圧倒し、妖しげな美の世界へとひきずりこんでいく。

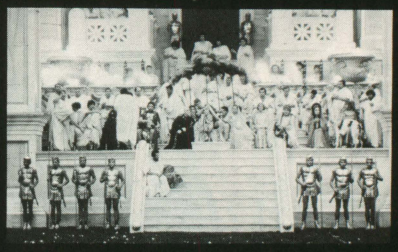
カリギュラとは、歴史上実在したローマ帝国第3代目皇帝をさす。西暦37年、25才の時祖父帝ティベリウスを暗殺し即位する。人民は若いカリギュラを大歓迎したが、性的にも溺愛していた最愛の姉ドルシラを不治の熱病で失ってからその性格は一変した。唯一の精神的支柱を失い、権謀術数の渦まく中でカリギュラの孤独と恐怖はエスカレートし、権力を武器に想像を絶する行為を繰りひろげていく。傭兵の処女妻を犯し、気に入らぬ臣下の首をはね、腹を引き裂き、性器を切り落す。狂的な性格はとどまることを知らず、妻の出産を一般公開し、ついには愛馬を元老院の一人に登用する。連夜の酒池肉林、宮廷内の乱脈はローマを財政難に追い込んだ。それを乗りきる為、カリギュラは宮廷内に金箔を張りめぐらした壮麗な方舟の売春宿を建て、臣下の妻や娘たちを働かせ、目も眩むほどの壮絶な大乱交絵図を展開する。しかし、暴君カリギュラの君臨も長くはなかった。在位期間わずか3年と10ヵ月。西暦41年1月、29才の若さで臣下によって暗殺された。

スキャンダラスな話題に連日長蛇の列！

「1世紀のローマの官能とデカダンスの世界を、『クレオパトラ』や『ベン・ハー』で見たような絢爛豪華なリアリズムで画面にドラマ化することを考えた」と、ボブ・グッチョーネが語るこの「カリギュラ」はローマのディア・スタジオにおいて既存の映画ジャーナリズムを無視し、一切の取材を拒否して秘密裡に撮影が行われた。完成試写も上映せず、M・P・A（米・映画協会）の手も通さず、敢えて自らを孤立無援の状態に置いたボブ・グッチョーネは自信満々の態で今年2月、ニューヨークにある劇場を一館買い取り、「ペントハウス・イースト劇場」と命名して公開した。多くのジャーナリストもかかわらず論ぶほどこのスキ画に連日長大ヒットをいまやボーイ」を凌ぐわれている「ペントハウス」初製作に興味騰し

の非難と嘲笑に議を呼べば呼ヤンダラスな映蛇の列が出来、記録した。「プレイ帝国といの映画は沸アメリカをはじめヨーロッパも記録的なヒットを続けている。各地で

超一流スタッフ、キャストの競演！



マルコム・マクドウェル〈カリギュラ役〉

ピーター・オトゥール〈ティベリウス役〉

テレサ・アン・サボイ〈ドルシラ役〉

サー・ジョン・ギールグッド〈ネルバ役〉

ボブ・グッチョーネ〈製作総指揮〉

狂人カリギュラを演じるのは「時計じかけのオレンジ」で鮮烈な演技を見せた英国の性格俳優マルコム・マクドウェル。梅毒病みの凄惨な顔を毎日3時間もかけてメークアップして祖父帝ティベリウスを演じるのはやはり英国の名優ピーター・オトゥール。カリギュラの心の拠りどころだった姉ドルシラには、新星テレサ・アン・サボイが扮している。ティベリウスの腹心ネルバを演じるジョン・ギールグッド卿、カリギュラの妻カエソニアを演じる英・王立シェークスピア劇団のヘレン・ミレンなど壮々たる俳優が脇を固め、加えて、ペット（ペントハウス誌のピンナップを飾ったオナペット）たちが総出演し、ローマ帝国のエロスと残酷の一大絵巻を展開する。

製作総指揮のボブ・グッチョーネの片腕となって製作を担当したのは、ロベルト・ロッセリーニの甥にあたるフランコ・ロッセリーニ。監督はティント・ブラス、美術監督は「サテリコン」「ロミオとジュリエット」をはじめ、衣裳美術部門で数多くのアカデミーを受賞しているダニロ・ドナティが担当。

いよいよ10月下旬 伊勢丹前シネ・タウン 新宿ロマン劇場 (351) 3674 衝撃の幕が開く！